

自主防災組織だより

平成 19 年 12 月 多摩市役所総務部防災課 発行

新潟県中越沖地震の支援を通じて

煙突が折れた清掃工場



一階が完全に潰れた住宅



発災翌日に、柏崎市へ入りましたが、既に、小・中学校で自主的な炊出しが始まっていました。残念ながら、写真撮影は気が引けてできませんでしたが、(また、震災後の混乱時期でも、ゴミ収集日・収集可能品目等のお知らせが、自治会長等を通じ住民の方へ浸透していて、地域のコミュニティが非常にしっかりしているように感じました。自主防災組織の皆様においても、日頃から、防災訓練・夏祭り等、積極的に参加いただき、地域の親睦を深めていただけますようよろしくお願いいたします。

ゴミ支援を通じ地域の方々とは触れ合い、率直に感じたことは、みなさん大変前向きに生活をしていましたことです。地元業者さんは「玄関ドアが閉まらないんだよ。だけど、今、元気に仕事ができることがうれしい。一日も早く、普通の生活に戻るため、今、頑張らないと。」と、明るく、元気に話していた姿が印象的でした。

(株)あいおい保険システムズさんより

大震災に備えて抽選で組立てりヤカー差上げます!

あいおい保険システムズは、あいおい(アオイ)の社名から、10月1日を「あいおいの日」とし、「ボランティア月間」として取り組んでおります。

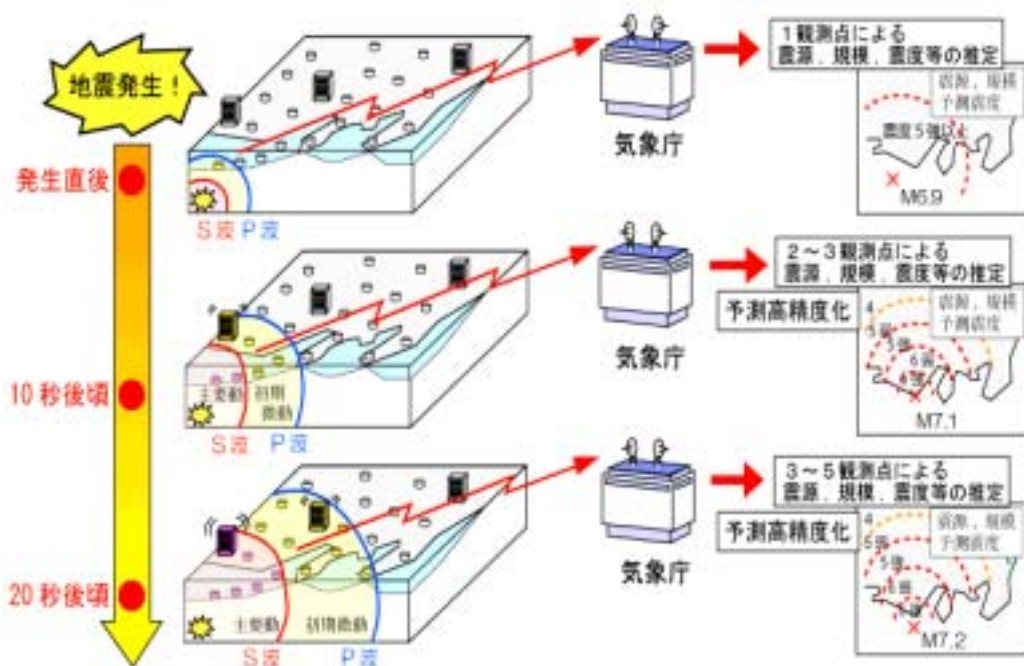
社員から集めた「りヤカー募金」に、社員のAED操作研修受講料相当額を、会社がマッチングギフトし、合わせたお金で、阪神・淡路大震災を機に開発された組立てりヤカー3台を購入することにしました。

少しでも社会の一員としてお役にたち、地域に身近で存在感ある会社」を目指す会社の方針から、阪神・淡路大震災に因み、1月に多摩市内の自主防災組織に寄贈させていただきます。

管理する資器材の搬送用具として、また災害時は救出・救難誘導活動にも使用できる「組立てりヤカー」が、防災活動の機動性の確保に貢献できることを願っております。

対象団体	多摩市内の自主防災組織であること
応募期間	平成 19 年 12 月 10 日 ~ 12 月 28 日
支援機器	アルミ製組立てりヤカー 3 台 (1 団体 1 台とします)
応募方法	ハガキかFAXで、団体名・代表者・住所・電話番号を記入
	応募多数の場合は抽選。抽選結果は1月中旬までに文書で当選団体に通知。りヤカーは2月末までに当選団体に送付
送付先	(株)あいおい保険システムズ 総務部
問合せ・申込先	〒206-8533 多摩市関戸 1-7-2 電話 042-339-3118 FAX 042-339-3180

知っていますか？緊急地震速報



地震の発生直後に、震源に近い地震計でとら

えた観測データを解析

し、震源や地震の規模

(マグニチュード)を直ち

に推定し、到達時刻や

震度を推定し、可能な

限り素早く知らせる情

報です。ただし、情報

を発表してから地震が

到達するまでの時間

は、数十秒と極めて短

く、情報が間に合わない

ことがあります。

また、予測された震

度に誤差を伴うなどの

限界もあります。緊急

地震速報を適切に活用

するためには、特性や

限界を十分に理解する

必要があります。

テレビラジオが自動でスイッチオンになるものではありません。これまでの地

震情報と同様に、テレビなどを視聴していた際に、字幕スーパーとして番組に重

ねて放送されます。

平成一九年十月一日より、テレビラジオ(在京民放ラジオは四月一日から)な

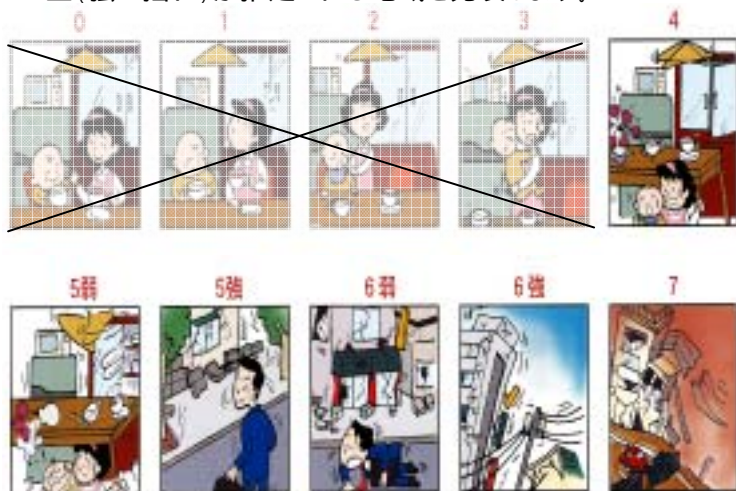
ごで皆様にお届けしております。今後、伝達方法が増える可能性もございます

ので、気象庁のHPなどをご確認ください

緊急地震速報が発令された時のあなたの行動

発令の基準

最大震度が5弱以上と推定された場合、震度4以上(強い揺れ)が推定される地域を発表します。



身の安全の確保



最寄の階へ降りる



発令



慌てず、ハザードランプを点灯し減速。

「緊急地震速報」へのお問い合わせは

気象庁地震火山部管理課 03-3212-8341 (代表)

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

助成内容

対象事業	複数の自主防災組織が合同で行う防災訓練
対象経費	合同訓練の実施に必要な消耗品、印刷製本費、通信費、研修費、原材料費等
交付申請	実施日の2ヶ月前までに申請
窓口	防災課防災係 338-6802



立川防災館
地震体験室、煙体験室など、情報盛りだくさん。10名以上の利用は要予約です。

合同訓練助成金申請受付中！

2つ以上の自主防災組織が、合同で行う防災訓練に対して、その訓練経費の一部として**五万円を限度**に、多摩市が助成します！

詳しくは、事前に防災課までお問い合わせください。

借上げバス助成制度があります！

自主防災組織で、防災館などに行こう！ そんな計画をしてみませんか？ 防災課が**民間バスを借上げて活動のバックアップ**をします！

計画を立てる前に、まずは、事前に防災課までお問い合わせください。

大変好評により今年度分は**受付終了**しました。4月より新たに受付いたしますので、今のうちから計画を！

助成内容

対象団体	自主防災組織に限る 自治会・管理組合での申請は不可
活動支援の対象	1. 東京消防庁防災教育センター 2. その他市長が認めるもの
交付申請	実施日の前月の5日まで申請
バスの使用	1日の使用時間は、9時間以内 全行程 500km 以内
窓口	防災課防災係 338-6802

自主防災組織リーダー研修会

危機管理技術研究センターより講師を招き、講演をしていただきます。今後の防災活動に役立てることができる貴重なお話がめじろおしです。自主防災組織のリーダーの方は、ご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

会場では、臨時駐車場を用意いたしますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用して来場ください。

日時	平成 20 年 1 月 26 日(土) 受付開始 9 時 30 分 講演時間 10 時 ~ 12 時
場所	多摩市立総合体育館 1F 第 1 会議室
参加者	各組織 2 名程度
予定講演	巨大地震の地震動と被害の予測
予定講師	危機管理技術研究センター 地震防災研究室 主任研究官 片岡 正次郎 様
詳しくは、後日文書によりお知らせします	



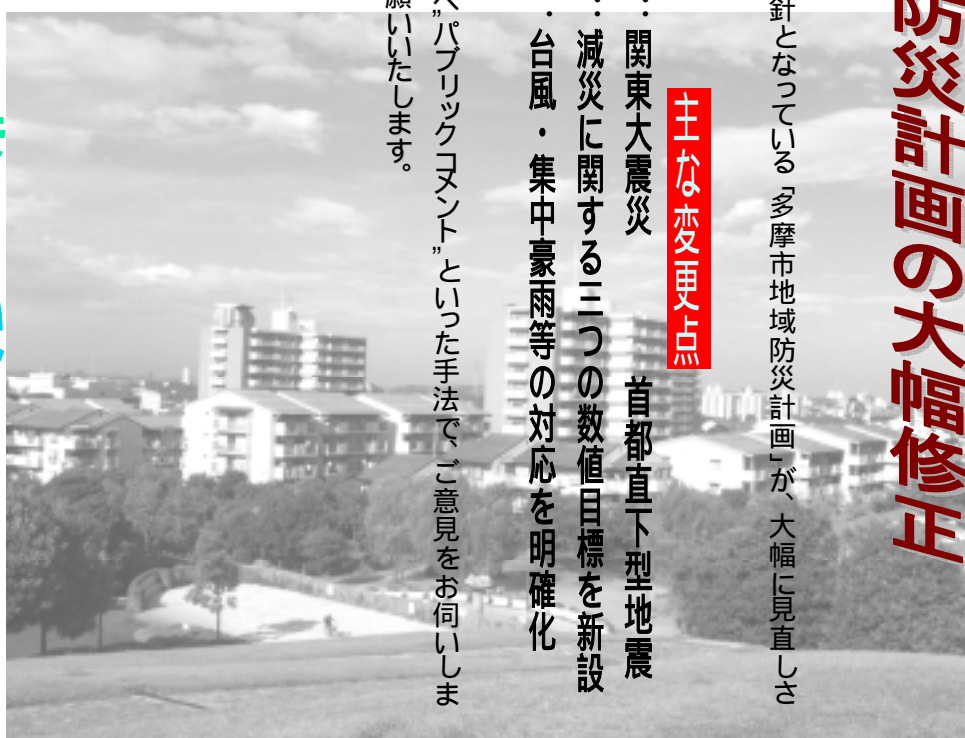
地域防災計画の大幅修正

多摩市の防災の指針となっている「多摩市地域防災計画」が、大幅に見直しされます。

土上は、赤文字と点

「被害想定の変更」…関東大震災 首都直下型地震
「減災目標の追加」…減災に関する二つの数値目標を新設
「風水害対策の強化」…台風・集中豪雨等の対応を明確化

今後、市民の皆様へ「パブリックコメント」といった手法で、ご意見をお伺いしますので、よろしく願っています。



編集後記

最近、ガソリンを始め、食料品、生活用品、いろいろな物の値段が上がっていますね。テレビ等で「家計への負担が心配」とよく見かけるようになりました。しかも「この物価上昇傾向は継続される」と指摘する専門家もいるようです。

そこで、店頭に並ぶ商品が値上がる前に、食料や防災グッズを購入してはいかがでしょうか？ 女いっすん、必要なものを揃える。これも、生活の知恵。この値上り傾向を逆手に取り、前向きに防災用品の備蓄を始めてみてはどうでしょうか。